

令和7年度 第2回 神奈川県立伊勢原高等学校 学校運営協議会 議事録

I 日 時 令和7年12月3日(水)15:00～16:30

II 場 所 本校会議室

III 参加者 (委員5名)

石田 誠 様(伊勢原高等学校PTA会長)

宮林 貴子 様(伊勢原市立山王中学校長)

成川 忠之 様(東海大学経営学部 教授)

成田 和吉 様(田中自治会長)

澤田 裕 (伊勢原高等学校校長)

(本校職員 12名)

○ 管理職 北村副校長、小俣全日制教頭、宮本定時制教頭

○ GL 石井(学務)、美馬(キャリア支援)、川井(生徒支援)、
井上涉(学校管理)、斎藤英(生徒指導)、天野(研究渉外)、
中尾(定カリ／支援)、帽本(定生・保／管理)

○ 記録者 廣澤(研究渉外)

IV 概要

第一部 全体会、学校運営協議会・学校評価部会【15:00～16:00】

1 校長挨拶

ア 本日の会の趣旨(中間報告)について

イ 直近の11月まで、12月以降の学校説明会、全日制・定時制(以下、「全定」と呼ぶ)の進路・進級等について

2 令和7年度 学校評価(中間報告)の「達成状況」「課題・改善方策等」について

【全日制】

(1)教育課程・学習指導について(学務 GL・研究渉外 GL)

① 進路実態やニーズを踏まえた「選択科目」を設定。

→「進路希望調査」を踏まえて令和8年度「クラス編成」「進路指導」に反映させている。

→「アンケート」を年度末に実施。

②組織的な授業改善、「ICT利活用授業研究推進校」としての取組みとして、
11/7(金)に「**公開研究授業**」を実施。

ア ChatGPT、ロイロノート、Google NotebookLMなど「**アプリやAI**を**利活用**した公開研究授業」を実施。

- イ 公開研究授業実施に先駆け、9月・10月に教科会で授業内容について検討し、9月には東海大学経営学部成川教授(本校学校運営協議会委員)による「AIについての職員研修」を実施。
- ウ 11/18(火)より全ホームルーム教室に「電子黒板」設置。

(2)生徒指導・支援について(生徒支援 GL・生徒指導 GL)

- ①「学校行事」「生徒会活動」について
- ア 体育祭、文化祭後のアンケートで「95%」以上の生徒が「積極的に参加できた」と回答。
- イ アンケート回収率が増減することが課題。
- ②「生徒指導」「教育相談」について
- ア 「SNS講座」「交通安全教室」を実施。
→「SNSトラブル」「大きな交通事故」は起きていない。
- イ 1学期に引き続き、第2回「かながわ子どもサポートドック」アンケートを実施。
→今後、担任・支援担任による面談、SC・SSWによる面談を実施。
- ウ 「いじめの認知」なし
→今後も積極的に認知していく。

(3)進路指導・支援について(キャリア支援 GL)

- ①進路指導の現状について
- ア 「総合型選抜」において「筆記試験(学力試験)」を課す大学が増加。
- イ 3学年生徒 194名の進路決定(12月3日現在)。
→大学 109名、短大9名、専門 65名がすでに合格。
(残り 43名:指定校推薦の結果待ち、今後受験する者など)
- ウ 就職生徒向けに教職員による「企業訪問」「企業研究」を進めている。
- エ 1学年「大山ウォーク」は、クマ出没により見送り。
→代わりに「地域研究」をしている。
- ②「キャリア教育計画」について
上記①を踏まえて、今後、見直しを行う。

◆【委員からの質問・応答】

成川委員:「キャリア意識を高める学習活動はいつから実施しているか。」

美馬 GL :「1学年5月に文理選択について話しをし、6月三者面談で、
大学、専門や専門分野・系統などを考えてもらう。」

成川委員:「1年生のうちから『職業観』を意識させたい。職に就くためには
どういう学校で、何を勉強するかなど具体的に。」

美馬 GL :「3年生でも何になりたいか、何をしたいかなどで迷っている生
徒もいる。1・2年生から少しづつ考えさせたい。」

(4) 地域等との協働について(学校管理 GL・研究渉外 GL)

①「地域貢献活動」について

- ア 2学期に1・2学年生徒が「地域清掃」を実施。(3学年は雨天中止)
- イ 「道灌祭」等地域行事に協力。
- ウ 「委員会」「部活動」等の地域の活動への参加状況を今後、調査する。

②「広報活動」について

- ア 「生徒会生徒」「国際生徒」による生徒主体の「学校説明会」を実施。
→ 11/15(土)「第2回学校説明会」:714家庭(1391名)参加。
- イ 12/6(土)に「第3回学校説明会」「在県外国人等特別募集説明会」を実施予定。
→ 在県生徒・保護者向けに「通訳」を手配し、また「パスポート(出願資格)確認」などを行う。
- ウ 本校 HP のブログ「Today's いせはら」の更新
→ 今年度から「新聞委員会」を「広報委員会」に改め、学校の様子を本校 HP にて生徒たちが告知(動画ではなく写真とテキストの形式)。

(5) 学校管理・学校運営について(学校管理 GL)

- ①「事故・不祥事防止職員アンケート」の回答率は令和6年度の「80%」を超えている。
→ 正答率が低い問題を職員会議で振り返り、風通しのよい職場づくりに努めている。
- ②「VRゴーグル」を使用した「DIG 研修」「防災避難訓練」を実施。
→ 夏休み中の実施だったため、参加者が一部の生徒に限定された。「VRゴーグル」の台数などに限りはあるものの、今後、参加者が増えるよう工夫する。

◆【全日制の中間報告について】

「委員からのご意見・振り返り」

石田委員:「アンケートなどについては、年度末だけでなく、日頃から生徒の声を聞き、学習活動に反映できるとなお良いと思う。」

成川委員:「『AI研修』をもっと強調して(太字にするなど)、県教育委員会にもアピールしたほうが良いと思う。」

宮林委員:「中学校でも教職員がICTの利活用について日々研究している。是非、伊勢原高校の先生方のお知恵を拝借したい。」「防災について、災害発生時の中高生が果たせる役割は非常に大きいと思う。」

「中学校では現在、高校入試に向けての指導が佳境を迎えており。高校進学だけでなく、将来を見据えたキャリア指導をしたいので、様々な場面で連携したい。」

成田委員：「地域清掃では、生徒の集めたゴミの一部を地域で引き取られてもらった。また、地元の役員会等でも伊勢原高校の地域貢献活動について話が出た。今後もできることがあれば協力する。」

【定時制】（以下、定時制 GL より説明。）

（1）教育課程・学習指導について

- ① 「チームティーチング」「個別指導」により生徒の「困り感」に対応し、生徒の理解の向上につながった。
 - 今後も、主体的に学習に取り組めるよう「授業研究」とともに、「授業互観」を続けたい。
- ② 10月の「授業公開推奨月間」（授業互観）を通して「ICTの効果的な活用方法」を教職員間で共有。
 - 「電子黒板」の効果的な活用方法を今後、共有していきたい。

（2）生徒指導・支援について

- ① 「学校行事」について
 - ア 生徒の「参加率」が向上。
 - 新入生歓迎会 20%、文化祭 11%、体育祭 17%に参加率向上。
 - イ 「生徒数の減少」に伴い、生徒一人ひとりの役割が増加。
 - 効率的な運営方法を検討する（「生徒会費」も減っていく）。
- ② 「生徒相談・支援」について
 - ア 「療育手帳」取得を支援。
 - 卒業後の自立に向け、外部機関と連携。
 - イ 様々な「特別活動」を通じて、生徒の「社会性」「自立心」向上を支援。
 - 「コミュニケーション不足」や「友人とうまくいかない」など対人関係で支援を必要とする生徒が多く、学年横断で「話しきれない」といける状況を作った。
 - ウ 生徒を早めに登校させ、「部活動」「勉強」をさせた。
 - 平均して生徒の「欠席」が約9日減少した。

（3）進路指導・支援について

- ① 外部機関による「就職・進学等のガイダンス」実施。
 - ア ハローワークの「就職ガイダンス」
 - イ キャリアサポート業者の「ガイダンス」
 - ウ 「分野別説明会」「企業見学」（全校生徒対象）
 - 1学年から進路希望について考える機会を作った。

②担任、進路指導担当との面談で生徒の「適性」と「進路先」を結び付けられるようになった。

→消極的だった生徒も「進路活動」に取り組めるようになった。

(4) 地域等との協働について

①「地域貢献活動」について

ア 9月「地域清掃」実施。

イ 「放課後デイサービスのボランティア」を複数回実施。
(ボードゲーム部生徒が小学生の相手をする)

②「広報活動」について

(新入生募集は停止だが)定時制の「学校行事」の都度 HP を更新。

(5) 学校管理・学校運営について

①職員の「不祥事防止」について

「不祥事防止チェックリスト」を毎月、職員会議で 100%回収。

→同じ形態の研修のため新たな取組みを検討。

②「防災教育」の取組みについて

ア 「県総合防災センター」で全生徒が「体験学習」

イ 3学期には1学年が「DIG訓練」実施予定。

→学校周辺地域の災害対策を学ぶ。

◆【定時制の中間報告について】

①「校長のまとめ」

ア 「募集停止」に伴う生徒数の減少とともに「教職員定数」も年々、削減される。

イ 文化祭やボードゲーム部などで今年度は全定生徒が合同で活動した。

→生徒数・教員数の減少は全定の連携で補っていきたい。

②「委員からのご意見・振り返り」

石田委員:「多くの生徒が外へ出て活動するのは良いと思った。」

成川委員:「募集停止後、人数が少ないのでできることを全日制とともにコラボできると良い。自身も学校を閉じるという仕事をしたことがあるが、とても時間がかかった。」

宮林委員:「定時制の募集停止は中学校にも影響が大きい。今まで定時制があるおかげで救わってきた生徒がたくさんいると思う。最後の生徒まで温かく接してほしい。」

成田委員:「私の両親も伊勢原高校の全日制と定時制の卒業生で定時制が募集停止したことが残念である。先生方には最後まで生徒たちをしっかりと見守っていただきたい。」

第二部 教育活動部会・地域連携部会【16:00～16:30】

1 学校の様子について(別紙資料の説明)

【全日制】

(1)「明鏡祭(文化部門)」について(生徒支援 GL)

- ① 明鏡祭に関する写真を全員で見て、今年度の様子を振り返る。
- ② 「パンフレットの電子化(二次元コードで案内を閲覧)」を進めている。
- ③ 「打ち上げ花火」の打ち上げなどもあり、地域にも事前に広報した。
- ④ 一般公開を「土曜日」開催にし、外部から「約 2100 名」来訪した。
- ⑤ 「生徒の声」(別紙資料「アンケート結果」)では、「喜び」「不満」「学んだこと」「人との関わりの難しさ」などが見てとれた。

(2)「地域貢献活動」について(学校管理 GL)

(別紙資料) 地域清掃の実施した範囲を地図で確認。

→年1回ずつ(全学年)歩いて地域を掃除する。

(3) 2学年(77期生)「修学旅行」について(学務 GL)

(別紙資料) 旅行行程表や写真等

① 令和7年 10月 22日(水)～2泊3日で実施。

→令和5年度より、物価高の影響で「2泊3日」で実施している。

② 1日目は羽田空港から「2班」に分かれて飛行機に搭乗。

③ 沖縄到着後、平和記念公園、ひめゆりの塔、ガマ見学などの「平和学習」をする。

④ 1日目に宿泊したホテルで生徒はくつろいでいた。

⑤ 2日目は「体験学習(選択)」。

ア マリンスポーツ

イ お菓子(ちんすこうなど)作り

ウ マングローブ、カヤック

エ 美ら海水族館、グラスボート

オ おきなわワールド見学

⑥ 3日目は「国際通り」散策。

◆【校長より】

ア 県の規定で県立高校の修学旅行は「10万円以内」という縛りがある。

イ 来年度新入生(79期生)の修学旅行業者選定では4社に見積依頼、3社が辞退という結果になった。

ウ 今後、修学旅行のあり方を検討していく。

(4) 部活動実績(7月～11月)について(略称・抜粋)(生徒支援 GL)

①ライフル射撃部

ア 7月 30・31 日：全国大会 出場(BP 男子・女子個人)

イ 11月 22～24 日：関東選抜大会 出場(BR 女子個人・BP 男子・女子個人)

②女子バレー部

ア 8月 23・24 日：関東大会 出場(ビーチバレー)

イ 北相地区大会「ベスト8」

③弓道部

9月 13・14 日：関東大会 出場(女子個人)

④男子ソフトボール部

ア 国民スポーツ大会「神奈川県代表」に選出

イ 8月 19・20 日：関東大会 出場

⑤男子サッカーチーム

ア 9月 28 日：全国高校サッカー県二次予選 進出

イ 10月 4日：高円宮杯 神奈川 K6 C グループ 優勝

→「K5」へ昇格

⑥男子バスケットボール部

ア 北相地区大会 準優勝

イ 新人戦 県大会 進出(8年ぶりの快挙)

⑦吹奏楽部

7月 23 日：県コンクール西湘大会 銀賞

⑧軽音楽部

ア 7月 24 日：ISEHARA SOUND STORM(市イベント) 優勝

→副賞として「記念 CD」制作決定

イ 9月 15 日：全国中高フェスティバル 金賞・ベストドラマ賞

◆【校長より】

ア 「関東大会」以上の上位大会出場時には、同窓会より「お祝い
金」を頂戴した。いつも温かいご支援をいただけることに感謝した
い。

イ PTA から出場記念の「横断幕」をいただき、プール横の外フェンス
に掲示。

【定時制】(定時制 GL)

(1)進路状況

(12月1日現在)卒業予定者 12名

①進学 7名

- ア 和光大学(2名) イ 相模女子大学 ウ 和泉短期大学
- エ 東京町田 ITクリエーター専門学校(2名)
- オ アイム美容理容専門学校

②就職 1名

(2)部活動等の実績

①バドミントン部

北相地区大会 準優勝(男子個人)、3位(女子個人)

②ボードゲーム部

ボランティア活動

- ア 放課後デイサービス訪問(小学生とボードゲームをする)
- イ 伊勢原中部地域 包括支援センター(高齢者と交流)

③定通 生活体験 発表会 優秀賞

2 その他

次回予告 3月初旬～中旬(予定)